

海外の石炭融資制限：報告

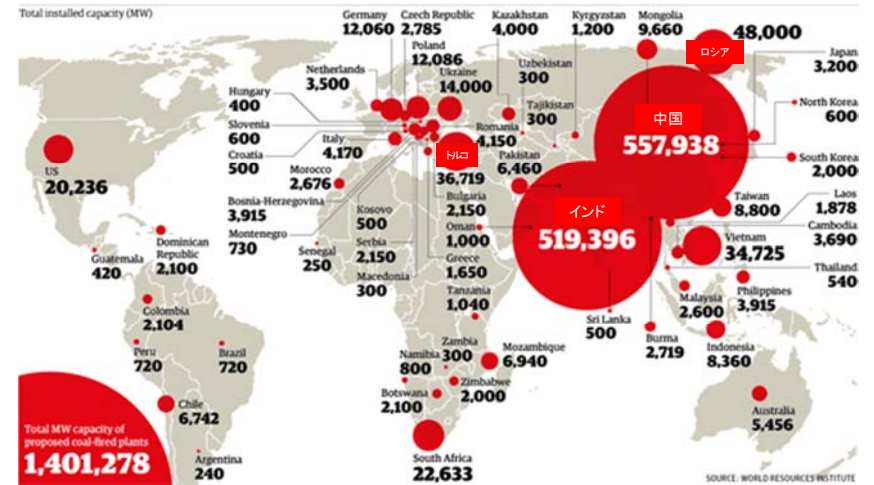


ジャスティン・グアイ
シエラクラブ・国際気候プログラム、副所長
2014年2月3日、東京



世界中で石炭火力発電所が提案されている

提案されている石炭火力発電所の総設備容量：140万MW



シエラクラブとは

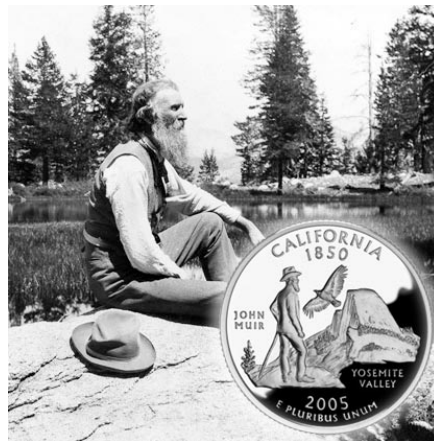
1892年に設立

草の根レベルの会員

民主主義アプローチ

130万人の会員とサポーター

全米50の州に支部



ジョン・ミュア



石炭ラッシュを停止

180基の石炭火力発電所を停止させました

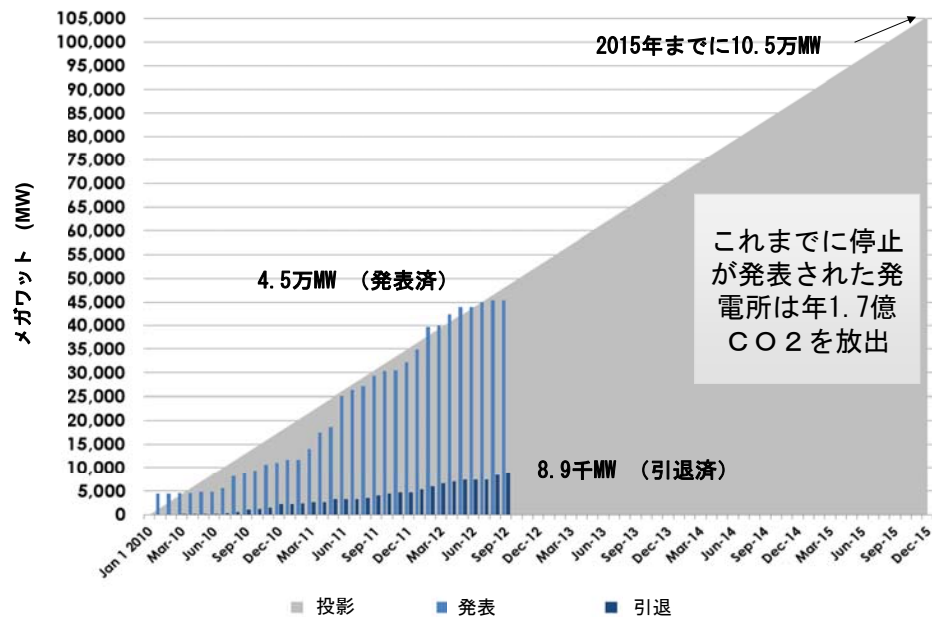
(8.9万MW: 年間6.55億トンのCO2排出量に相当)



出典: Sierra Club Coal Tracker



石炭ゼロへの道のりの半分まで来ている



4



アメリカの現状

米国の発電総量に占めるの石炭割合



大手国際金融機関は石炭火力発電支援を停止へ

オバマ米国大統領の気候行動計画

「オバマ大統領は米国政府の海外への石炭火力発電所融資支援を停止しようと呼びかける。」

例外： A) 経済的に実行可能な代替案を持っていない貧しい国々

B) 二酸化炭素貯留 (CCS) 技術を利用する施設

欧州投資銀行

「500 g-CO₂/kWhの排出ガス性能基準は欧州排出量取引制度の下で欧州連合や欧州連合の加盟国の炭素排出レベルを反映したものである。」

世界銀行のエネルギー部門方針書

「世銀は未開発地域の石炭発電プロジェクトへの金融支援を停止する。」

例外： 基本的なエネルギー需要を賄う実行可能な代替案がなく、他の融資支援がない場合。民間金融は推奨選択肢だが、世銀が支援する場合、既存のスクリーニング基準が適用される。

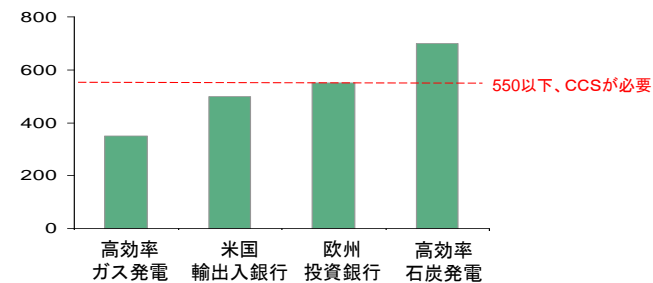
欧州復興開発銀行

「石炭火力発電に関しては、低炭素へのシフトには、電源や熱源としての石炭火力を止めることが必要である。よって欧州復興開発銀行は、実行可能な代替案がないというなきわめて例外的な状況を除いて、石炭火力発電部門に対する融資は行わない。」



石炭融資機関の排出基準の比較

KWh当たりの炭素強度



発表された排出基準はCCS技術が必要



米国輸出入銀行の方針

高炭素集約度石炭火力発電所を650gCO₂/kWh もしくはそれ以上排出するものと定義する。

米国輸出入銀行は排出量を500gCO₂/kWh (CCS) に抑えるものに対してのみ援助を行う。

以下の条件を満たす最貧国については免除する：

- 厳密な代替案の分析
- 最も適切な技術
- 低炭素成長計画との整合性
- 特別のリストを提供し、国際開発協会のブレンド国（例、インド、ベトナム）は除外

関連インフラに関する投資も含む

鉱業とその輸出は免除する

発電所の稼働年数の延長や能力の拡張（例：集塵器）の改造をする場合、免除はしない。

現在の議会による付加条項は9月までは更新されないと考えられる

→ つまり、米国政府はこの方針を適用するためにお金を費やすべきではないと考えている

最新の基準はCCSを必要としている



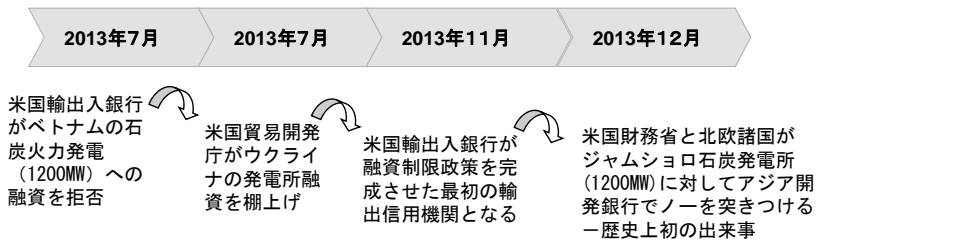
海外の石炭融資の制限の発表

タイムライン：2013年6月～現在



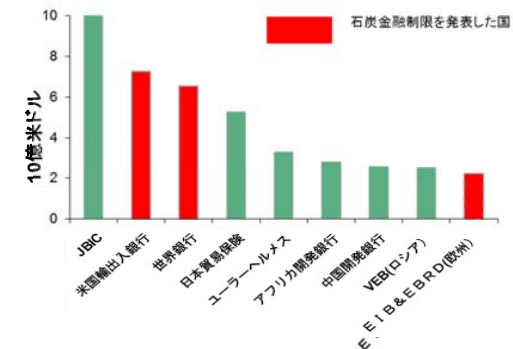
米国政府系金融機関における海外石炭事業への融資制限実施状況

タイムライン：2013年6月～現在



世界の国際金融機関との足並みが揃わないJBIC

諸外国の石炭事業に投資する国際公的金融機関の投資額 2007～現在



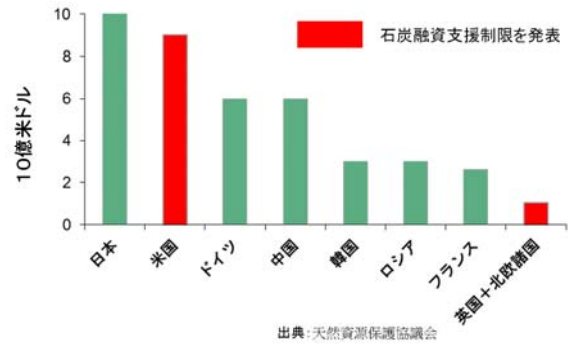
出典：天然資源保護協議会

JBICは未だ海外の石炭融資制限を発表していない世界最大の金融機関である。



世界の指導者らは海外石炭融資から離れている

石炭火力への主要国の公的資金供与の国際比較
2007年～現在



日本は未だ石炭融資制限を発表していない世界最大の公的資金供与国

ご清聴ありがとうございました。



お問い合わせ先:
Justin.Guay@Sierraclub.org